

2004年度後期 専門セミナー Reading economic articles in English

教科書

Economics Focus in *The Economist* (コピーを配布)

The Journal of Economic Perspectives 等

授業目的

このセミナーの第一の目的は経済記事や学術論文を英語で読み、内容を理解し、発表および議論する能力を身につけることにあります。そのうえで、経済の様々なイシューおよび、経済学を用いて分析する手法について理解を深めることをねらいます。

授業の進め方(ルール)

前半(約7回)

- ・ *The Economist* の Economics Focus を各回3人ずつ報告する。
- ・ それぞれ、一つの記事を担当して25分間(最低20分)のプレゼンテーションをする。
- ・ 基本的には記事の内容を略すことなく報告する(元々の記事自体がかなり凝縮してかかっているのものでそれ以上略すとますます解らなくなる)。むしろ、そのテーマについて予備知識が少ない人にも解るように、少なくとも自分だったら初めて聞いても解るというレベルまで適宜説明ふくらませること。最後に全体のサマリーと、自分自身の感想(日本経済や身の回りの出来事に当てはまるかなど)を述べてプレゼンテーションを終了する。
- ・ そのためには自分自身が記事の内容とそれが書かれた背景を理解する必要がある。テキスト中で分からない・知らない事柄については参考文献を調べる・インターネット検索を用いるなどして他の参加者に説明できるようにしておくこと。単語レベルはもちろんだが、取り上げているテーマ自身全般について有る程度答えられるようにしておくこと。
- ・ プレゼンテーションは単に直訳を読み上げるのではなく、内容をよく理解した上で、自分の言葉で参加者によく分かるように説明すること。必要であれば、レジюмеやテーマに関連する資料を配布して良い。適宜、黒板を使うなど工夫する。
- ・ 講師を含め、担当者以外の授業参加者は、報告中適宜不明な点・追加的な説明がほしい点について質問する。最後に報告全体を通じた議論をする。
- ・ 各記事の担当者は初回に決める。担当記事を変更できるのは以下の場合に限る。
 - 9月以降の Economist に掲載された Economics Focus を報告したい場合
 - Economics Focus 以外の記事で特に興味があるものを報告したい場合(1ページ以上の分量のある記事に限る。事前に要承諾)
 - 初回に誰も希望しなかった記事を報告したい場合
 - 受講者の間で、お互いの担当記事を交換することが合意された場合

いずれの場合も、報告予定の前の週の授業開始時に受講者全員に対してアナウンスすること。また、新しい記事、Economics Focus 以外の記事を報告する場合は資料室で人数分コピーして、アナウンス時に配ること。コピーに関しては、資料室のカウンターでこの講義の資料をコピーする旨をつたえ、「堀井講師」用のコピーカードを借りること。

(後半)

- ・ JEP などの入門的学術雑誌の記事を、受講者数人で分担して読む。詳細は前半終了後にアナウンスする。

成績評価

- ・ 成績は基本的に報告（最低 2 回）によって評価する。興味深くわかりやすいプレゼンテーションをし、参加者（講師を含む）の質問に的確に答えられることが高評価となる。
- ・ また、授業中の議論にどれだけ参加できるかも評価の対象となる。
- ・ 毎回出席することは当然であるが、やむを得ず欠席する場合は前回の授業時または授業までにメール（horii@econ.osaka-u.ac.jp）で連絡すること。万一報告者が欠席せざるを得ない場合は、他の参加者に報告を交代してもらうなど責任を持って対応すること。

その他

- ・ 報告の準備をする上で解らないことが有れば、受講者同士相談するか、講師に質問に来て頂いてもかまいません。
- ・ オフィスアワーは水曜日午後 3 時から 4 時半まで。研究室は教務の窓口の奥の階段を上がってすぐ右手の部屋です。オフィスアワー以外もメールでの連絡が有れば可能な範囲で対応します。
- ・ 10 月 19 日は講師が学会に出席するため、おそらく休講になります